

タウンニュース

株式会社タウンニュース社 ☎044-741-4111(代) FAX044-741-4002 多摩区編集室・〒211-0042川崎市中原区下新城三丁目14-7 http://www.townnews.co.jp 発行責任者/宇山 知成 編集長/伊藤 圭

多摩区版/No.603 2016年(平成28年) 元旦号

報告 神奈川県議会議員 土井りゆうすけ 「開かれた議会」更なる改革へ

企画 土井りゆうすけ政務活動事務所



土井りゆうすけ

1959年5月7日生まれ(56歳)

略歴 衆議院議員 小泉純一郎秘書
平成11年より
神奈川県議会議員(5期)

現職 第108代神奈川県議会議員

事務所 登戸2663東洋ビル7F
☎044-911-5200

昨年5月に県議会議長に就任されました。半年を振り返るといかがですか。

【土井】議会上の議長としての役割は当然ですが、表敬訪問や要人の出迎え、見送りといった対外的な仕事、国・政府への要望や意見書の提出、議会局88人の職員をまとめる役割など多岐にわたります。大変忙しい日々を過ごし、責任の重さを感じています。

就任時に「議会改革」「県民に身近な議会」というキーワードを挙げましたが、別委員会や予算委員会も中継するよう進めています。議論を視覚的にもわかりやすくするため、スクリーンプロジェクトを議場に設置することも決定しました。平成29年度から活用す

「開かれた議会」更なる改革へ
企画 土井りゆうすけ政務活動事務所

る計画です。昨年11月末には議会傍聴者向けに託児室を設置しました。誰もが気軽に議会を傍聴できる環境を整えています。また議会の免震化工事に伴い、議会議報コーナーを設置します。タブレット端末を設置して様々な情報を見ることができるようになります。

そして県民の皆さんからも厳しい目が向けられている政務活動費についても見直しを進めました。政務活動費連絡会を議会内に設置し、県民の皆さんの理解が得られる制度へと改革していきます。

県議会が主導となつて様々な取り組みが進められていますね。

【土井】その一つが手話言語条例です。議員提案で進め、昨年4月に施行されました。県民の皆さんに手話への理解を深めてもらい、普及させることが目的です。議員自ら手話を学ぼうと、研修会を開き、手話パフォーマンスタ子園で活躍した高校生にも協力をいただきました。今後も研修を重ねていきます。

そして議会二丸で取り組んできた神奈川県立がんセンターの重粒子線治療施設「IROCK(アイロック)」がようやく12月5日に開所しました。全国では5例目、がんセンター併設としては全国初の施設です。現在は先進医療として民間保険の特約が活用できますが、今後も活用できるように議会として国や政府へ働きかけていきます。

また環境問題やエネルギー問題を掲げ、議会として燃料電池に注目しています。燃料電池車の普及を進めるため、15年度は補助金予算を盛り込みました。

今後の議会のポイントはいかがですか。

【土井】2020年の東京オリンピック・パラリンピックのセーリング競技が江ノ島で開催されます。神奈川県はサーフィンの誘致もめざしています。今後、神奈川県内にも多くの外国人観光客が訪れるわけですから、「観光立県かながわ」をめざす中で重要な施策が求められます。例えば、民泊の活用も課題となります。制度づくりやその検証を進める必要があります。

多摩区が誇る生田緑地も観光資源として大きな魅力があります。観光産業は情報発信が鍵です。海外に情報発信する点で県の役割はますます大きくなります。

より開かれた議会へ、より魅力のある神奈川へ、議員として、また議長として取り組んでいきます。